



玉堂邸

金沢区文化協会会報



金沢区文化協会

編集人 加藤 千之輔
広報部長

☎ 783-9731

発行人 助川 信彦
発会

☎ 781-9337

旧川合玉堂邸内覧会

金沢は文化と歴史の薫り高い、そして自然に恵まれた風光明媚な住みよい街です。その中であって京浜急行・富岡駅のすぐ側にある『旧川合玉堂邸』は、2000坪に及ぶ広大な丘陵地に建つ都会の中の別天地です。川合玉堂は近代日本画を代表する巨匠。本名は芳三郎、明治6年、愛知県に生まれ、昭和32年に84才で没しています。その玉堂がここ金沢に画室を構え、大正末期から昭和7年頃まで制作活動を続けていました。代表作の一つ『紅梅白梅』はここで描かれたといわれています。邸内に大きな老松があったので、『二松庵』と呼ばれ、平成7年に表門と茅葺きの主屋が横浜市指定有形文化財に指定されています。現在は個人の所有物ですが、ご厚意により平成14年11月3〜4日の2日間、内覧会が催されました。その準備（邸内の整地・除草・清掃等）当日のさまざまな作業（周辺警備・場外誘導・受付・ガイド・記録等）は、文化協会をはじめ、横浜金沢シティガイド協会・金沢街づくりの会・金沢区の文学と歴史愛好会等多くの方々がボランティアで参加していただきました。行政からは市の教育委員会文化財課他、



たくさんの方が参加、金沢区から区長はじめ区政推進課、その他多くの職員の皆様の参加もあり、まさに官と民が一体となって見学者を迎えました。何よりも嬉しかったのは、参加希望が三千名を超え、抽選で千名にしたほど反響がすごかった。事故もなく無事終了できたこと、そして見学者からは『ぜひ横浜市で買い取り常設の展示館として市民に開放してほしい』という熱烈な声がたくさんあったことです。いづれは、われわれ市民の力で運営を計りたいと考えておりますので、皆様の夢をかなえて頂きたいと切にお願いする次第です。

第2回金沢区小・中学校音楽祭

平成14年12月11日(土)、第2回金沢区小・中学校音楽祭は素晴らしい好天に恵まれ盛大に行なわれた。近年小学校と中学校が互いに音楽の世界で相まみえる事などがなかったのだが、一昨年度内の学校に呼びかけ学校行事もほぼ落ち着いたこの時期に合唱・トランペット鼓隊・吹奏楽・木琴のセッションが実現したものである。金沢区文化協会器楽部と合唱部によるこの試みは、第2回を準備するにあたり、果たして継続して各学校の賛同が得られるのか気がかりであったが、早々に良い返事を頂き、各学校の担当の先生方、忙しい校務の中を夜の会合に出席して頂いた。当日はテーマを「動物」と定め各学



金沢中学校

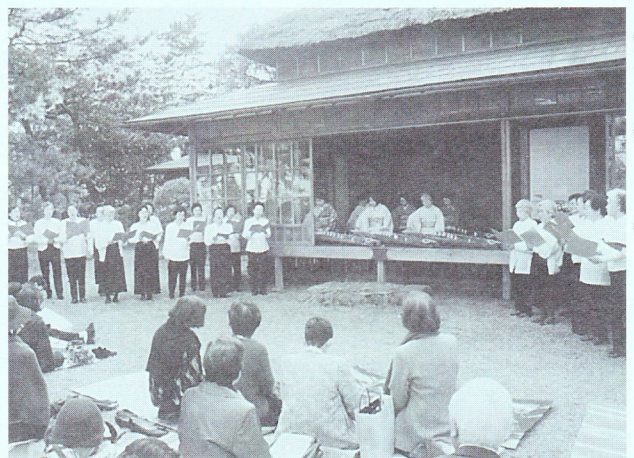


富岡小学校

校とも「動物」に因んだ曲を演奏し機知に富んだ司会により会場から動物名を選んでもらうという演出や、また生徒による曲目紹介・さらに正面玄関には森の背景(絵画部)と動物のぬいぐるみ(手工芸部)が可愛く飾られるという趣向が凝らされた。各学校の熱演の最後にはゲスト金沢吹奏楽団の気合いの入った演奏に引き続き会場全員による「大きな古時計」「かなざわの四季」の大合唱は会場をすっかり熱気に包んで終演となった。今後第3回も予定しているが、各学校の先生方、出演の生徒諸君その他ご協力下さった方々にはこの紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

秋の催し

於伊藤博文公野島別荘



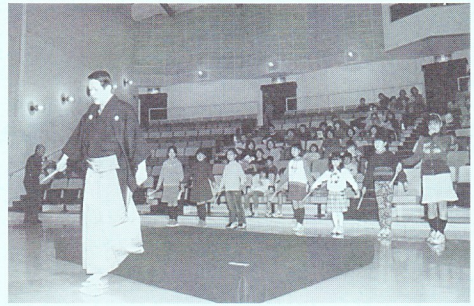
- 箏曲 六段調・八千代獅子 金沢三曲会
- 吟詠 風雲児・織田信長 武双流吟道会
- 合唱 ひまわり会 伴奏 桐韻会琴アンサンブル
- もみじ・里の秋・村祭り・虫の声・浜千鳥
- 吟詠 日本の秋・中国の秋 六浦吟詠会
- 舞踊 寿三番叟・紅葉の橋 金沢区日本舞踊連盟
- 謡曲 六浦 ふみくらの仲間たち
- 放下僧 富久謡会
- 呈茶 金沢区茶道会



指定と併せて保全し、区民の皆様が一般公開して遺産として後世に伝承していくべく継続して活動をしていきたく思います。

昨年11月6日(水)晩秋の日和に伊藤博文公野島別荘にて秋の催しが開かれました。担当の緑政局、教育委員会、区役所の皆様の協力により文化協会とオリオンライオンズクラブの主催で清掃ボランティアをして下さった皆様をお招きして文化財指定と保全、さらには一般公開を願っての開催でした。当日は発案者である小幡議員、またご多忙のところ橘川区長が参加され、励ましのご挨拶があり、また催しは茶道部の呈茶もあり、六段の調べからお琴の演奏による合唱や吟詠、日本舞踊、特に地元の謡曲、六浦と放下僧が謡われ、さらに別荘と縁の深い金沢小学校の生徒約100名が参加され特別に金沢区の文学と歴史愛好会会長である楠山永雄さんからこの別荘にまつわるお話を披露していただきました。生徒たちは強い感心を持ち、保全に少しでもお役に立ちたいと申し出がありました。文化協会はこの由緒ある別荘を文化財の指定と併せて保全し、

親と子の「能」の魅力講座

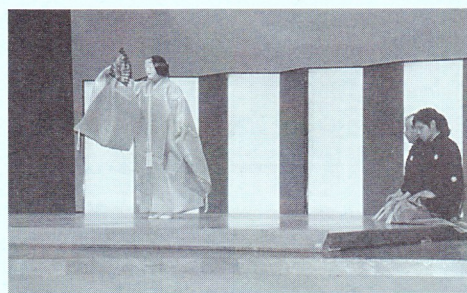


ふみくら
の仲間たち、
金沢区役所、
金沢区文化
協会共催で
親と子の
「能」の魅力
講座が1月
25日(土)公
会堂で開催
されました。
これは称名

寺で新能を開催している金春流の桜間眞理先生と弟子の皆様の協力により実現しました。
当日は熱心な親子約100名が参加され、まづは桜間先生から能についてのお話で始まり、次いでスライドにて装束や扇、囃方の笛、小鼓、大鼓、太鼓のお話と続き「六浦」のレッスンに入りました。「月日経て、うつれば変わるながめかな、桜は散りし庭のおもに、咲きつづく卯の花のかきねや雪にまごうらん。」と「クセの仕舞ドコロ」を全員で先生の口伝えで謡い、仕舞の練習に入りました。12名の子供達に扇を渡し謡いに合わせ先生は丁寧一人ひとり教えてくれました。前半のしめは、皆で練習した「六浦」を装束をつけた謡と仕舞で演じてくれました。後半は「鞍馬天狗」の学習に入り物語のお話から始まり、牛若丸との子方「花

見」のきらびやかな装束を生徒男女につけ、花見之の袴をつけた歩き方、花見の立ち居振る舞いを教えてくださり、最後は桜間先生の勇壮な天狗の舞で幕を閉じました。
この後、子供達から積極的に質問がありました。

- 一、扇子と扇とどう違うのですか。
- 一、先生はどうやって上手になられたのですか。
- 一、謡に楽譜があるのですか。
- 一、仕舞のとき、肘を張るのはなぜですか。



終了後、参加されたお父様やお母様からは初めて能に接することが出来、勉強になり、地元の能に誇りを覚ええました。子供達からは大変楽しく出来て良かった、またやってみたいとの声がありました。文化協会は一昨年より地域の歴史や文化の伝承を計ろうと青少年事業に力を入れておられます。塩づくりや席書大会、音楽祭等、一緒に活動を展開していきたいと思えます。

歴史講演会 「伊藤博文公と金沢」



楠山 永雄先生

昨年11月10日(日)金沢地区センターで歴史講演会「伊藤博文公と金沢」が開かれました。講師はおなじみの楠山永雄氏(金沢区の文学と歴史愛好会々長)。「この会場のすぐ近く洲崎町に「憲法草創之処」という大きな石碑があります。伊藤公が中心になって旧憲法(明治憲法)の草創を起した処。ところで富岡八幡宮の近くにも「日本国憲法起草の地」という碑があります。こちらは現在の憲法を富岡に住んでいた憲法学者金森徳次郎氏が昭和21年に新憲法の草創をしたところという石碑。

第14回 金沢区民文化祭 区民の作品展

第14回金沢区民文化祭「区民の作品展」が昨年10月16日(水)から20日(日)まで文化協会主催で金沢地区センター体育館を会場に例年どおり開かれました。書道・絵画・写真・文芸の出品数は例年どおりでしたが、手工芸参加の団体が24と今までの最高となりました。参観者も二千二百名を超える盛況で、後半の華道展・茶道会のお茶会も盛会で

金沢区は新旧両憲法草創の二つの碑がある憲法にゆかりの深い土地です。

鎌倉時代からの金沢文庫が関東大震災で倒壊した。伊藤公がその再建に努力したが、その際金沢の実業家大橋新太郎氏が財政的支援をした。同氏は尾崎紅葉の名作「金色夜叉」で金持ちの富山のモデルといわれている。大橋氏は伊藤公に心酔し、経営する出版社を博文館と称した。

その他、憲法草案の入った鞆が泥棒に盗まれたが、現金だけ抜き取り鞆が捨ててあった話、憲法草創の碑を何度も作りなおした話、平瀧湾に島を作り、そこに憲法神社を作ろうという計画がこれも何度も発表されたが実現しなかったこと、伊藤公が金沢を愛し、会食所(迎賓館)を野島に持って来ようと努力した話など一〇〇枚を越すスライドで解説され、満員の来場者の拍手で終了した。

した。児童アト教室も8回目、子供達が楽しそうでした。

今年も会場の体育館に昨年と同じくお琴のしらべが流れました。邦楽の桐韻会・三曲会の方々が小学唱歌や童謡を演奏されました。また、タウンテレビ南横浜のスタッフが取材に見え、後日放映されました。

文化協会 行事予定

(連絡先) (順不同)

4月6日(日) 八景木村邸 お花見と野点と講演と備前焼	6月中旬 悠心陶芸クラブ 横浜備前一門展	4月13日(日) 春季茶会 第46回	5月31日(土) よこすか芸術劇場 第32回 金沢吹奏楽団定期演奏会	12月14日(日) 金沢公会堂 第3回 小中学校音楽祭	4月8日(火) 以下偶数月の火曜日 金沢地区センター おやこで楽しむおはなし会	10月18日(土) 金沢地区センター 第8回 児童アート教室	10月15日(水) 19日(日) 金沢地区センター 第5回 金沢区民文化祭 「区民の作品展」	華道展(18、19日)お茶会(19日)	10月19日(日) 金沢地区センター 第5回 金沢区民短歌大会	9月 地区センター 第15回 金沢区児童書席大会	16年3月 地区センター 第17回 金沢区書道協会展
(848)3153	046	(782)8079	(788)2691	(783)3962	(701)0795	(783)8549	(701)2372				
6月8日(日) 金沢地区センター 金沢区民俳句大会	11月16日(日) 称名寺・金沢文庫界限 金沢区民俳句(吟行)大会	5月25日(日) 金沢公会堂 横浜市金沢芸術 総合フェスティバル2003 (吟詠・コーラス・邦楽・日本舞踊・ 詩舞共演)	11月3日(祝) 金沢公会堂 金沢三曲演奏会	7月27日(日) 海の公園 塩田による塩づくり	11月16日(日) 金沢地区センター 歴史講演会「金沢の説話・伝説10話」	12月7日(日) 金沢公会堂 第8回 金沢区日本舞踊連盟公演	7月(第5回)11月(第6回)予定 金沢歌謡祭 金沢公会堂	16年2月 会場未定 第9回 わたしたちの金沢写真展	11月16日(日) 金沢公会堂 第5回 記念大会 吟と舞の祭典	10月19日(日) 金沢公会堂 第23回 金沢区音楽のつどい	
(781)5044	(773)3803	(771)4570	(781)8665	(701)9207	(783)5479	(774)9382	(783)2284	(701)9720			

団体会員懇談会

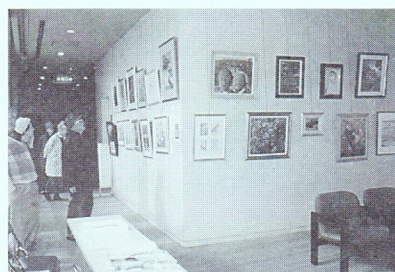
2月9日(日)10時より能見台地区センターで団体会員懇談会が開かれました。参加は登録団体47のうち25。助川会長の挨拶のあと、各団体の自己紹介で、その成り立ちや目指す方向、運営など話されました。

後藤事務局長を中心に意見交換があり、学校施設を夜間や休日に文化活動にうまく使うこと、伝承文化など学校へ出向いてアピールする。塩づくりや能楽鑑賞など参加した子供たちが非常に興味を持ったこと、など話し合われました。

金沢茶道会の方々の呈茶の接待でなごやかな雰囲気のうち12時すぎ終了しました。

絵画展(雙彩会)

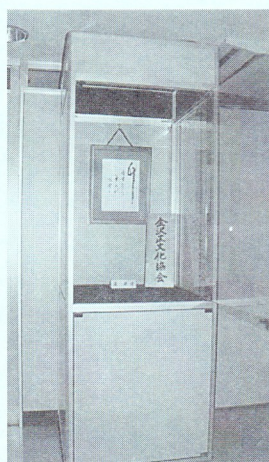
昨年11月11日〜17日まで金沢地区センター2Fロビーにて荻原吟二理事のもと約50点の作品が展示され、同センターを訪れた多くの人々からは皆一様にその力作の素晴らしさに感嘆の声が聞かれました。



会員数約80名は平均年齢70代とはいえ皆さん元気にその趣味に取り組んでいるそうです。

金沢区役所2Fに「展示ケース」

区役所2F区民ホールに作品展示用のガラスケースが設置され文化協会六部門(書道・絵画・写真・文芸・手工芸・華道)の作品が一週間交代で飾られ同所を訪れる人の目を楽しませています。前の金沢華道会の花席も同様に皆さんに喜ばれていました。



賛助会員芳名簿

(個人・団体五十音順)

相川 光正	岩瀬 博愛	小幡 正雄	木村 久義	黒川 澄夫	国吉 一夫	佐藤 謙一郎	田中 肇	松本 純	峯尾 舜	谷田部 孝一	関東学院大学	金澤金融懇話会	金沢区三師会	金沢区食品衛生協会	金沢区身体障害者福祉協会	金沢民謡舞踊普及会	幸栄印刷(株)	(有)翠祥園	(有)洗心洞大学	(有)高松商会	真鶴会館	横浜市立大学
-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	------	------	------	--------	--------	---------	--------	-----------	--------------	-----------	---------	--------	----------	---------	------	--------

編集後記

「しおさい」の用紙が変わりました。製紙会社が吸収され製造中止になったためです。移行行く世の中にあつて、残すべき文化や伝統を守るのも文化協会の使命ではないでしょうか。

編集委員 加藤千之輔・岩瀬昭二・森川淳子 佐野史瑞子・後藤政也・氏家総子